

和水町の魅力ポイント

■面積 98.8km² ■人口 約9,000人 ■指定地域 特定農山村、過疎

- 熊本県の北部に位置する和水町は、2006年に菊水町と三加和町が合併して発足。福岡空港から高速バスで約60分、博多駅から新玉名駅（隣の玉名市所在）まで約40分と、九州外からのアクセスもよい。
- 町出身の金栗四三は箱根駅伝創始者でもあり、日本マラソンの父と呼ばれ、スポーツ振興に尽力（グリコのロゴのモデルともいわれている!）
- 特筆すべき観光地は、「なごみキャンプ場」と「三加和温泉」。また、「江田船山古墳」や「八つの神様」があり、歴史的な史跡巡りができる地でもある。
- 三加和温泉は、pH値10以上。手触りとろとろで「スーパークレンジング温泉」とも言われるほど!
- 江田船山古墳は出土品の全てが国宝指定! 出土された刀には約75字の記録文字、ペガサスや魚などが刻まれ、古代ミステリー解明のための貴重な資料。東京国立博物館に所蔵されているので、予習をしてから現地に行くのもおすすめ!



なごみキャンプ場



三加和温泉郷



江田舟山古墳と刀の銘文など

和水町の課題

■ 政策分野 定住対策・地域活性化

- 人口減少（2万人超(S22)→1万人割り(R元)）と高齢化（65歳以上の割合は42.5% (R2)）に伴って、空き家の増加が顕在化。お試し住宅等の移住者支援策に取り組んでいる。
- 江田船山古墳や金栗四三生家などの観光資源があり、史跡、スポーツ、道の駅や温泉センターを核とした地域活性化に取り組むものの、施設老朽化による今後の維持管理コスト等などが課題。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 7月に和水町を訪問し、町内を視察するとともに、町長、まちづくり推進課、商工観光課、農林振興課と意見交換を実施。
- 道の駅に隣接する河川敷に、いわゆる「河川空間のオープン化」を用いた地域活性化策を提案。また、農水省の「データ活用による地域と都会をつなぐ実証プロジェクト」により、消費者データ等のビッグデータを分析するとともに、ワークショップを開催準備中。
- その他、個別の相談に対し、利用できる制度や他自治体の事例等を紹介

今後の方針

- 2月予定の訪問では、データ活用を踏まえたワークショップに参加し、町の現状等について新たな気付きを得た上で、今後の地域活性化策について議論予定。
- 上記の結果やこれまでの打合せ等を踏まえ、道の駅や近隣施設の一体的な利活用等に係る今後の提案などを検討。